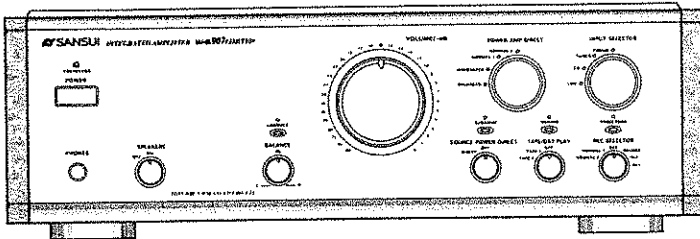


# SANSUI

インテグレートドアンプ

# AU-907 LIMITED

## 取扱説明書



このたびはサンスイ製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。  
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、本機の性能を十分に発揮させてご愛用くださいますようお願いいたします。

この取扱説明書は、わからないことや不具合が生じたときにお役立ていただくため、大切に保管してください。

## も く じ

安全にご使用いただくために .....	3
接続 .....	4
各部の名称と説明 .....	8
操作 .....	10
トラブルと修理依頼 .....	14
仕様 .....	15

※説明の便宜上、イラストは原形と異なることがあります。

## アフターサービスについて

保証書：この製品には保証書が添付されています。

「お買上店の捺印、購入年月日」などの記入及び記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。  
所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は保証期間中でも保証が無効となる場合があります。

保証期間：この製品はお買上の日から1年間です。

正常な使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合は、保証書に記載されている内容に基づき、修理いたします。

保証期間経過後の修理：当社消費者相談窓口またはお買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

この製品の補修用性能部品\*1の最低保有期間は、製造打ち切り後8年\*2です。

\*1：補修用性能部品とは、この製品の機能を維持するために必要な部品です。

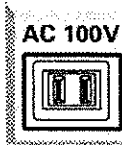
\*2：この期間は、通商産業省の指導によるものです。

---

この取り扱い説明書は保証書、サービスネットワークと一緒に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。

---

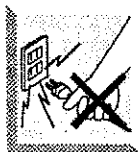
# 安全にご使用いただくために (このページは必ずお読みください)



## 本機は交流 (AC) 100V 専用です

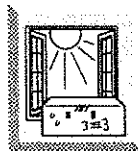
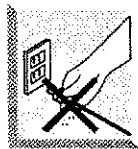
電源プラグをコンセントに接続するときは、次の点にご注意ください。  
誤った接続をすると故障や火災の原因になる恐れがあり大変危険です。

- この製品は日本国内用につくられていますので、海外のAC電源ではご使用になれません。
- クーラーなどの200V電源には接続しないでください。
- 船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。



## 電源プラグを抜き差しするときのご注意

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを持って抜くと断線やショートの原因となり、大変危険です。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差しすると、感電することがありますので絶対におやめください。
- 電源コードを傷つけたり電源コードの上に重いものを乗せたりすると感電や火災の原因となり、大変危険です。



## 次のような場所には置かないでください

性能の劣化や故障の原因になります。

- 暖房器具などの発熱物の近く。
- 窓際など直射日光や雨の当たる場所。
- 風通しが悪く、湿気やほこりの多い場所。
- 振動や傾斜のある不安定な場所。



## 通風孔をふさがないでください

本機をご使用になると、内部でかなりの熱を発生するため、上下の通風孔により空気の対流を効果的に利用し、放熱が行われるように設計されています。

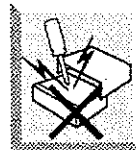
通風が悪く、放熱が十分でないとき内部温度が異常に上昇し、故障や火災の原因になりますので次の点に注意してください。

- 密閉したラックなどに入れないでください。
- 本などを置いて通風孔をふさがないでください。
- ふとんや毛足の長いカーペットの上に置かないでください。



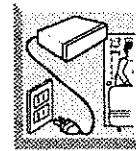
## 音のエチケット

音量は時や場所に応じて適度な大きさに調整してください。特に、静かな夜間は小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には気を配りましょう。



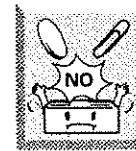
## ケースや底板は絶対にはずさないでください

本機の内部には高電圧がかかっているところがあります。内部の点検や調整をすると、故障や感電事故の原因になりますので内部に触れることは絶対にしないでください。また、内部を改造した場合の故障や性能の劣化については当社では保証いたしません。



長期間ご使用にならないときは、安全のため本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままにしておくと、思わぬ事故につながる恐れがあります。

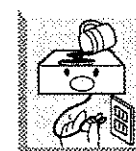
次のような場合はすぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上になった販売店または最寄りの当社サービス窓口 (サービスネットワーク参照) にご連絡ください



## 内部に異物が入ったとき

内部にヘアピンや硬貨などの異物を入れた場合、そのまま使用すると故障を起こしたり火災や感電の原因になる恐れがあり、大変危険です。特にお子様にはご注意ください。

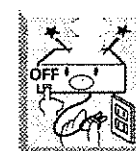
内部に異物が入った場合はすぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上になった販売店または最寄りの当社サービス窓口 (サービスネットワーク参照) にご連絡ください。



## 水が入ったとき

内部に水が入ると故障を起こしたり火災や感電の原因になる恐れがあり、大変危険です。

内部に水が入った場合は本体に触れないよう注意しながら、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上になった販売店または最寄りの当社サービス窓口 (サービスネットワーク参照) にご連絡ください。



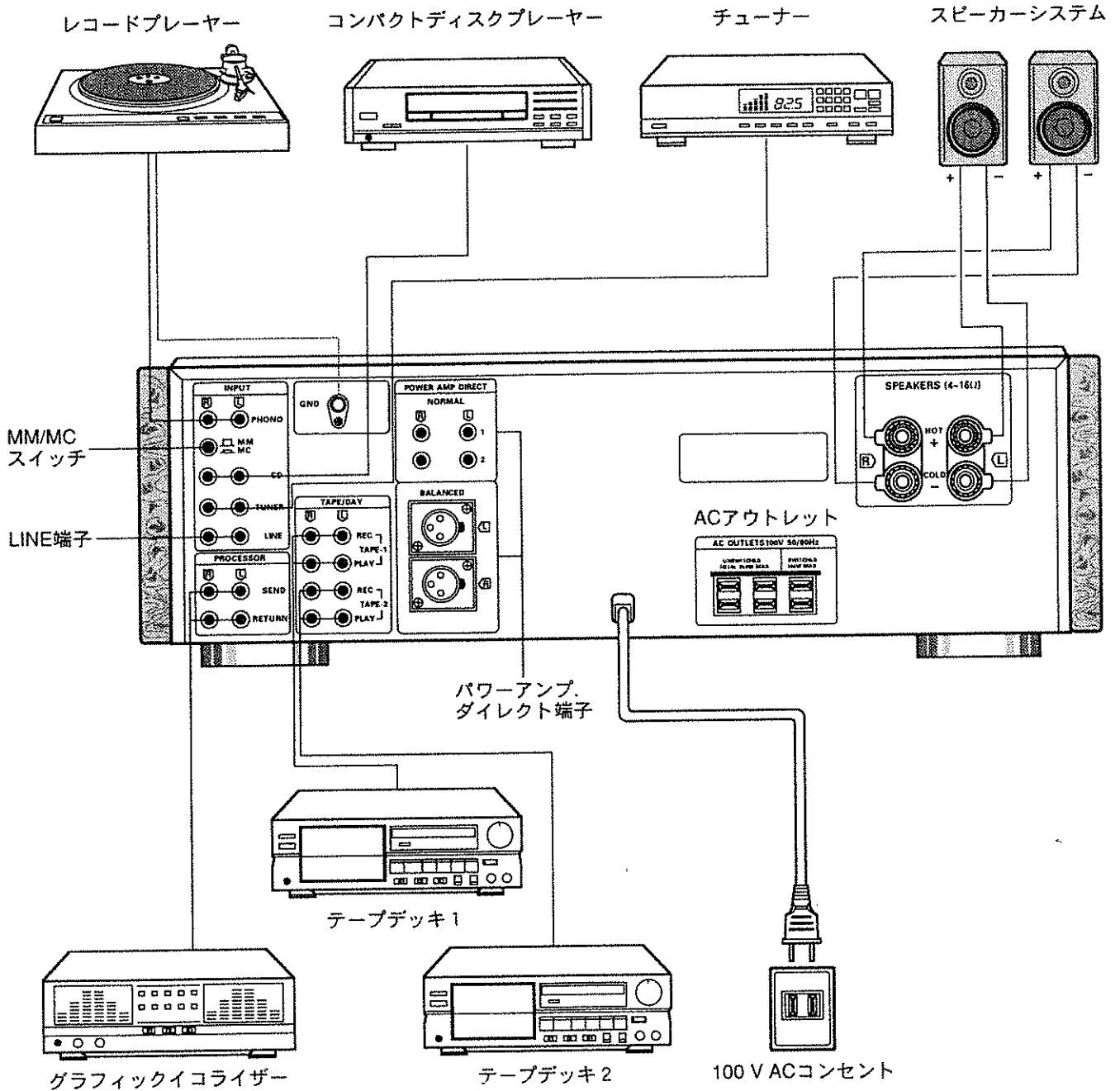
## 本機の動作に異常を感じたとき

本機から異常な音や臭い、煙などが出たときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買い上になった販売店または最寄りの当社サービス窓口 (サービスネットワーク参照) にご連絡ください。

そのまま使用すると故障の範囲が広がったり火災や感電の原因になる恐れがあり、大変危険です。

あなたが放送やCD、テープ、またはビデオディスクや市販のソフトテープから録音や録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

# 接続



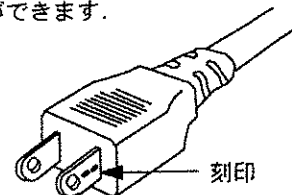
## MM/MCスイッチ

レコードプレーヤーで使用するカートリッジの出力電圧に応じて"MM(□)"または"MC(■)"にセットします。  
 MM(ムービングマグネット)型などの高出力カートリッジを使用する場合は、このスイッチを"MM(□)"にセットし、MC(ムービングコイル)型などの低出力カートリッジを使用する場合は、このスイッチを押して"MC(■)"にセットしてください。

## 電源コードの極性表示について

本機の電源コードには極性表示があり、接続するACコンセントの極性と合わせることで音質が良くなる場合があります。家庭用ACコンセントに極性表示がある場合（一般にアース側の差し込み口が長くなっている）電源プラグに図のような刻印がされている方をアース側に合わせて差し込んでください。

\* 背面にあるACコンセントの極性表示は電源コードの極性に合わせてありますので、接続する装置との極性を統一することができます。



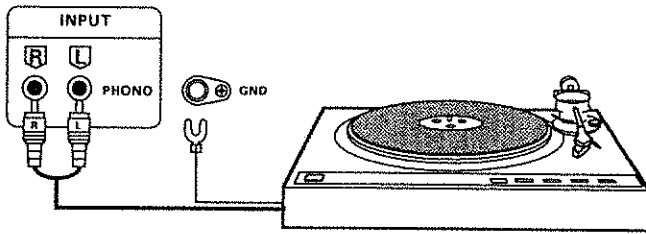
# 接続

## 接続上の注意

- \* 接続を行う場合は、電源プラグをコンセントから抜くか、パワースイッチを押して電源を切ってから行ってください。
- \* 接続する前に、本機に接続するオーディオ機器の取扱説明書もよくお読みください。
- \* 左右チャンネルをよく確かめて、正しく（LとL、RとR）接続してください。
- \* プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音発生の原因になります。
- \* 本機はα-Xバランス構成になっているためスピーカー端子のCOLD(-)端子同士を共通にしたり、他の装置のアース(GND)端子とCOLD(-)端子を接続することはおやめください。

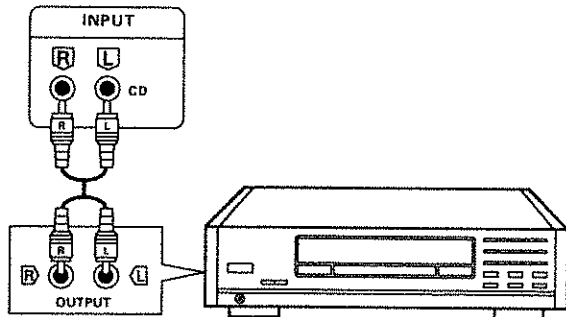
## レコードプレーヤーの接続

レコードプレーヤーの出力コードをフォノ(PHONO)端子に接続します。出力コードのLプラグをL端子に、RプラグをR端子に接続し、アース線を(GND)端子に接続してください。



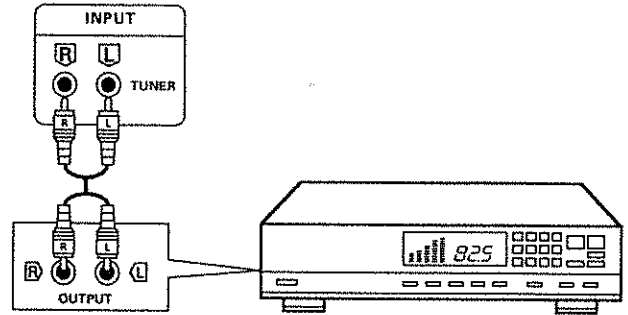
## コンパクトディスクプレーヤーの接続

コンパクトディスクプレーヤーの出力(OUTPUT)端子とシーディー(CD)端子をピンプラグコードで接続します。



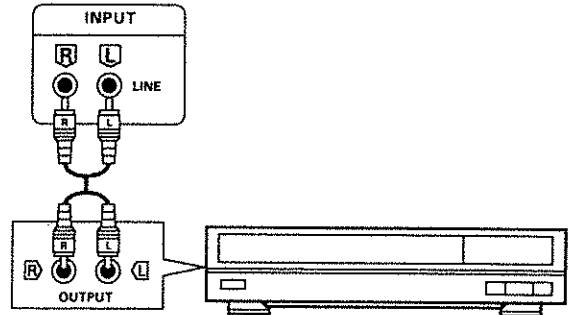
## チューナーの接続

チューナーの出力(OUTPUT)端子とチューナー(TUNER)端子をピンプラグコードで接続します。



## LINE端子の接続

LINE端子はCD端子やTUNER端子と同等の電気的性能をもっていますのでビデオディスクプレーヤーやTVチューナーなどの音声再生用端子としてご利用ください。ご使用になる装置の出力(OUTPUT)端子と本機のライン(LINE)端子をピンプラグコードで接続します。



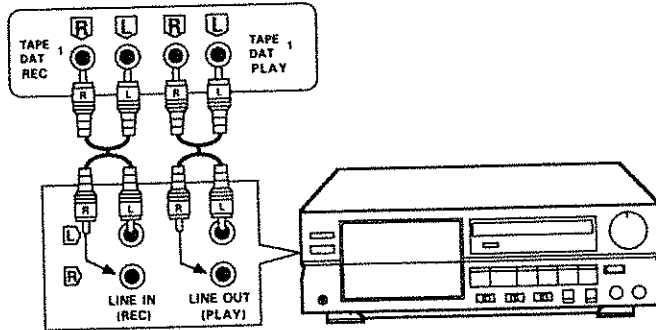
# 接続

## テープデッキの接続

テープデッキを接続するテープ(TAPE/DAT)端子は2系統あり2台のテープデッキを接続して同時録音やテープコピー(▶2.2▶1)が行えます。

録音用の接続:テープデッキの入力(LINE IN/REC)端子と本機のTAPE/DAT REC端子をピンプラグコードで接続します。

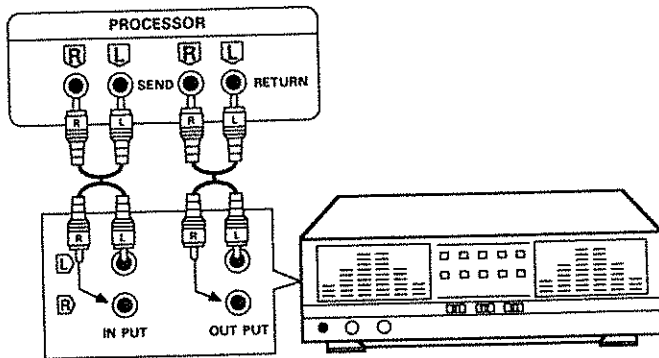
再生用の接続:テープデッキの出力(LINE OUT/PLAY)端子と本機のTAPE/DAT PLAY端子をピンプラグコードで接続します。



- \* 本機にDAT (デジタルオーディオテープレコーダー) を接続する場合はこのテープ(TAPE/DAT)端子に接続してください。
- \* ハイファイビデオデッキの音声(AUDIO)入、出力端子を接続する場合も上記の方法で接続します。

## プロセッサー(PROCESSOR)端子について

グラフィックイコライザーを接続する端子です。AVセクターをご使用になる場合も、この端子に接続すると便利です。使用する装置の入力(INPUT)端子と本機のSEND(SEND)端子を、出力(OUTPUT)端子と本機のリターン(RETURN)端子をピンプラグコードで接続します。



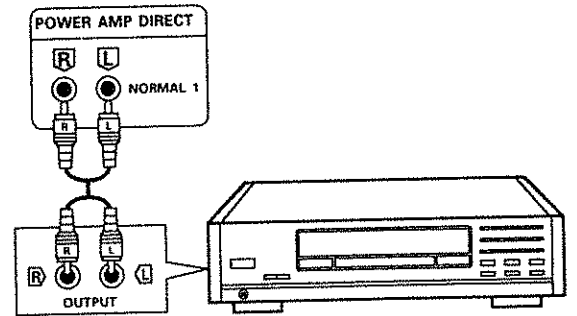
## パワーアンプ. ダイレクト(POWER AMP DIRECT)端子について

プリアンプ部を切り離して本機のパワーアンプにダイレクトに接続して使用する場合に、このパワーアンプ. ダイレクト(POWER AMP DIRECT)端子に接続します。

この端子はノーマルタイプのNORMAL-1,NORMAL-2とバランスタイプのBALANCEDがあります。

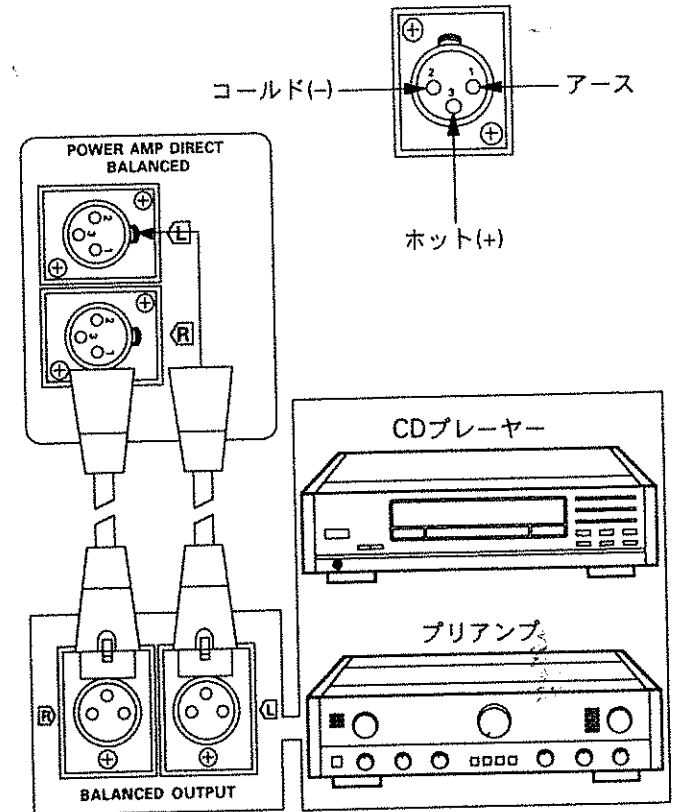
### NORMAL-1,NORMAL-2端子に接続する場合

プリアンプやコンパクトディスクプレーヤーを接続して使用することができます。ご使用になる装置の出力(OUTPUT)端子と本機のノーマル(NORMAL-1,-2)端子をピンプラグコードで接続します。



### BALANCED端子に接続する場合

ご使用になる装置の出力(OUTPUT)端子と本機のバランス(BALANCED)端子をキャノンコネクターで接続します。キャノンコネクターの極性は図のようになっておりますので、極性を合わせて正しく接続してください。



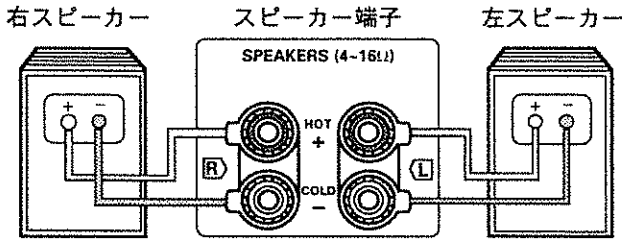
# 接続

## スピーカーシステムの接続

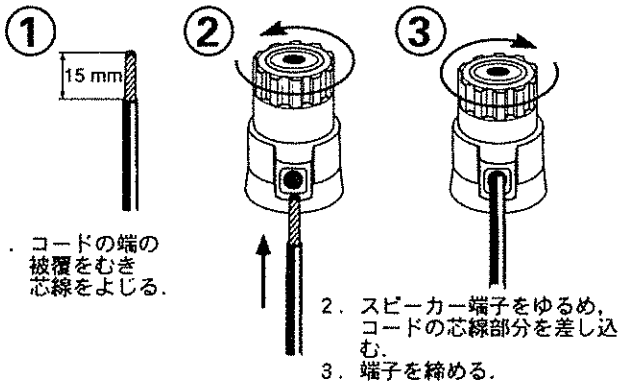
スピーカーシステムを接続する場合は、正面から見て左側に置くスピーカーシステムをL端子に、右側に置くスピーカーシステムをR端子に接続してください。

また、スピーカー端子とスピーカーシステムは、必ず同じ極性(+と+, -と-)を接続してください。左右いずれかの極性を間違えて接続すると、中央の音が抜けたようになり楽器の位置がはっきりせず、ステレオの方向感をそこないますのでご注意ください。

\* 接続の際、スピーカーコードの芯線が端子からはみだしたりして他の端子に接触しないように注意してください。



## スピーカーコードの接続



## スピーカーのインピーダンスについて

スピーカーのインピーダンスは、4Ω以上、16Ω以下のものをご使用ください。

スピーカー端子はα-Xバランスサーキットの一部となっており、誤った接続をすると故障の原因となります。

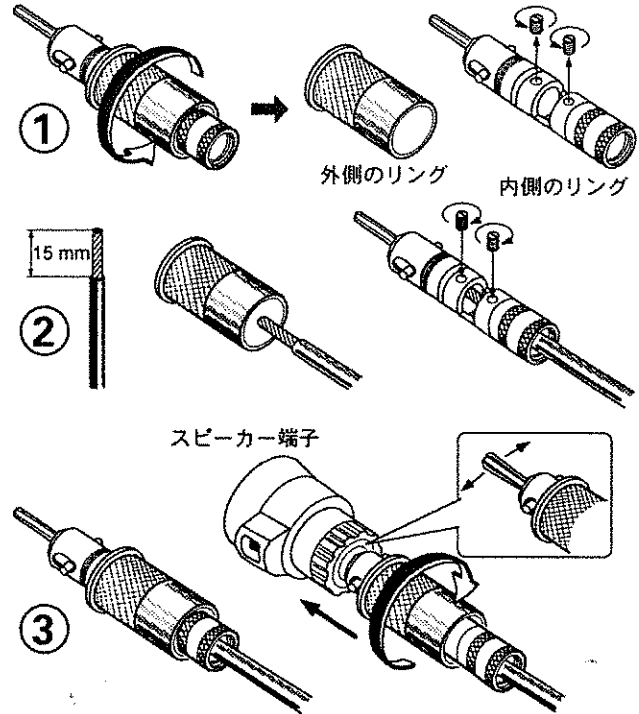
特に次のような接続は絶対にしないでください。

- COLD(-)端子とアース端子を共通。
  - COLD(-)端子と別のCOLD(-)端子を共通。
- またCOLD(-)端子が他のスピーカーコードの芯線や端子に接触しないように注意してください。

## スピーカーシステムの接続 (参考例)

市販のスピーカーコード接続金具 (バナナ型) を使用した一例として

1. 金具の外側のリングをはずし、内側のリングのネジ2本をゆるめます。
2. コードの端の被覆をむき、芯線をよじる。外側のリングをはじめに通し、内側のリングにコードの芯線部分を差し込みネジ2本を締めます。
3. 外側のリングをかるく締めます。スピーカー端子に差し込み、さらに外側のリングを締めます。金具の先端が開きスピーカー端子にロックされます。



## ACコンセントについて

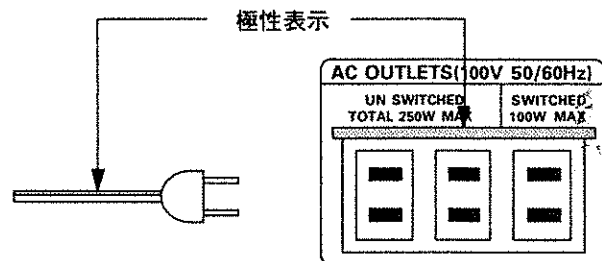
チューナーやレコードプレーヤーなど、このアンプに接続した装置の電源プラグを差し込んでおくと便利です。

SWITCHED (容量100W) : パワースイッチに連動して電源の供給がON-OFFされます。

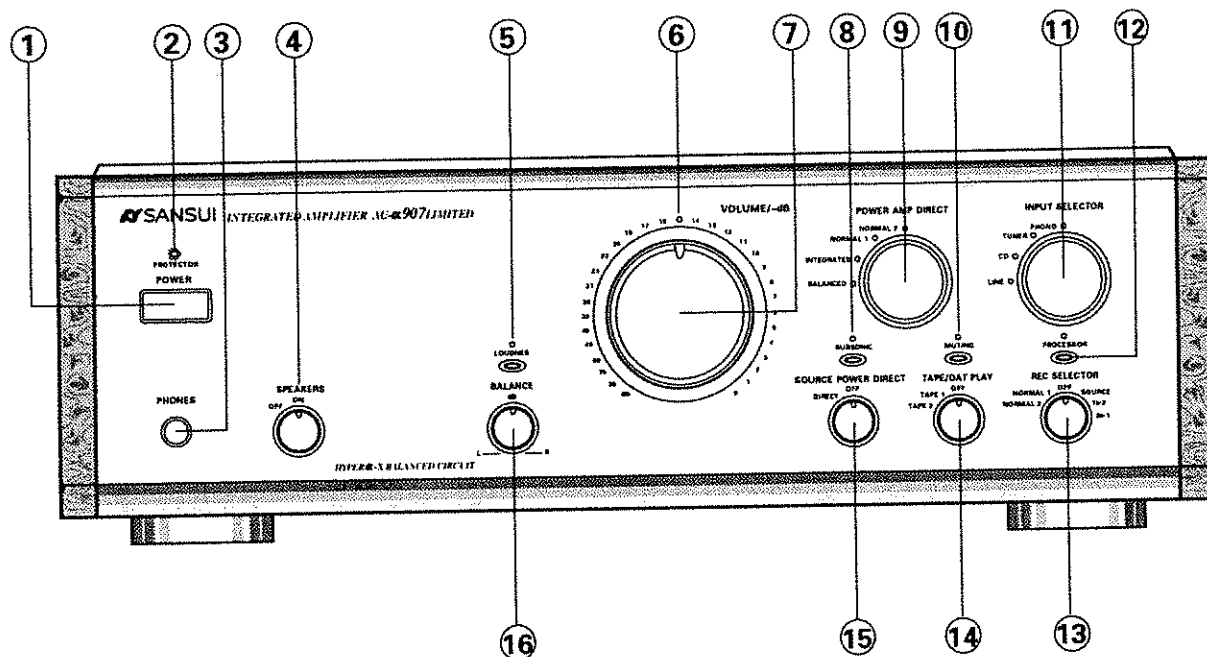
UNSWITCHED (合計容量250W) : パワースイッチに関係なく、常に電源が供給されています。

\* 接続する装置の消費電力の合計が、指定電力容量を越えると危険です。接続する前に消費電力を確認してください。

\* 極性表示 (白線やWマークまたは刻印) のある電源コードのプラグを差し込む場合は、プラグのアース側をACコンセントの極性表示に合わせて差し込んでください。



# 各部の名称と説明



## 1 パワースイッチ(POWER)

このスイッチを押すと電源が入り、もう1度押すと電源が切れます。

## 2 プロテクターインジケータ(PROTECTOR)

電源が入るとこのインジケータが点滅し、数秒後、点滅から常時点灯に変わり、アンプが動作状態になります。また、使用中にプロテクター(保護)回路が働くと点滅に変わりアンプの異常を知らせます。このときはただちに電源を切り、原因(スピーカーコードの短絡など)を取り除いてください。

\* インジケータが点滅している間はスピーカーから音が出ません。

## 3 ヘッドホンジャック(PHONES)

ヘッドホン用出力端子です。ステレオヘッドホンで演奏を聞くときに、ヘッドホンのプラグをこのジャックに差し込みます。ヘッドホンを使用する際は、耳をあまり刺激しないよう適度な音量に調整して演奏をお楽しみください。

\* ヘッドホンを使用しないときは、プラグを抜いておいてください。

## 4 スピーカースイッチ(SPEAKERS)

ヘッドホンを使用するときや、スピーカーを使用するとき切り換えるスイッチです。

OFF..ヘッドホンを使用して演奏を聞くときにこの位置に合わせます。

ON..スピーカーで演奏を聞くときにこの位置に合わせます。

## 5 ラウドネススイッチ(LOUDNESS)

小音量時にこのスイッチを押すとインジケータが点灯して、低音と高音が適度に増強されます。

もう1度押すとインジケータが消え、LOUDNESS回路が切り離され周波数特性がフラットになります。

## 6 パワーアンプ.ダイレクトインジケータ

パワーアンプ.ダイレクトスイッチを"NORMAL-1, NORMAL-2"または"BALANCED"にセットするとこのインジケータが点灯します。

## 7 ポリュームコントロール(VOLUME)

スピーカーやヘッドホンの音量を調整するつまみで右にまわすと音量が大きくなり、左にまわすと音量が小さくなります。また、音量表示が2つ(パネル面とつまみの周囲)あり、パワーアンプ.ダイレクトスイッチの設定により、表示の読み方が次のように異なります。

INTEGRATEDのとき:つまみのマーク(○)とパネル面に表示された数字を合わせて読んでください。

NORMAL-1,NORMAL-2またはBALANCEDのとき:パワーアンプ.ダイレクトインジケータ(○)とつまみの周囲に表示された数字を合わせて読んでください。

## 8 サブソニックスイッチ(SUBSONIC)

このスイッチを押すとインジケータが点灯し、可聴帯域外の低い周波数(16Hz)を6dB/octで減衰するサブソニックフィルターが働きます。ソリなどのあるレコードを演奏すると発生する超低音の雑音は、混交調ひずみの原因になり、音質に悪影響を与えますが、このフィルターで除去できます。

もう1度押すとインジケータが消え、フィルターが解除されます。

## 各部の名称と説明

### 9 パワーアンプ・ダイレクトスイッチ (POWER AMP DIRECT)

本機のプリアンプ部を切り離して、パワーアンプ部と他の装置を組み合わせて使用する場合に切り換えるスイッチです。

NORMAL-2...POWER AMP DIRECT (NORMAL-2)端子に接続した装置を使用するとき。

NORMAL-1...POWER AMP DIRECT (NORMAL-1)端子に接続した装置を使用するとき。

INTEGRATED...インテグレートッド(プリメイン)アンプとして使用するとき。

BALANCED...POWER AMP DIRECT (BALANCED)端子に接続した装置を使用するとき。

\* 操作を間違えると音が出ませんので、ご注意ください。  
\* 通常は「INTEGRATED」の位置にセットしておいてください。

### 10 ミューティングスイッチ(MUTING)

音量を20dB下げのスイッチです。一時的に音量を小さくするときにこのスイッチを押すと、インジケータが点灯して音量が小さくなります。

もう1度押すと、インジケータが消えて音量がもとの大きさに戻りますが、急に大きくなりますのでご注意ください。

### 11 インプットセレクター(INPUT SELECTOR)

お聞きになるプログラムソースを選択するためのスイッチです。

PHONO...PHONO端子に接続したレコードプレーヤーを使用してレコードを聞くときに、この位置にセットします。

TUNER...TUNER端子に接続したチューナーを使用して放送を聞くときに、この位置にセットします。

CD...CD端子に接続したコンパクトディスクプレーヤーを使用してコンパクトディスクを聞くときに、この位置にセットします。

LINE...LINE端子に接続した装置を使用するとき、この位置にセットします。

### 12 プロセッサスイッチ(PROCESSOR)

PROCESSOR端子に接続したグラフィックイコライザーを使用するときこのスイッチを押します。

スイッチの上にあるインジケータが点灯して使用できる状態になったことを示します。

\* PROCESSOR端子に接続した装置を使用しないときや何も接続されていないときは、インジケータが消灯の状態にしておかないと、音が出なくなりますのでご注意ください。

### 13 録音セレクター(REC SELECTOR)

TAPE/DAT端子に接続した装置でテープ録音をするときに、録音するプログラムソースに応じてセットします。

NORMAL-2...POWER AMP DIRECT NORMAL-2端子に接続した装置のプログラムソースを録音するとき。

NORMAL-1...POWER AMP DIRECT NORMAL-1端子に接続した装置のプログラムソースを録音するとき。

OFF...録音を行わないとき、この位置にセットすると録音回路が切り離れ、テープデッキからの電気的影響を受けません。

SOURCE...インプットセレクタースイッチで選択したプログラムソースを録音するとき。

1▶2...TAPE/DAT-1端子に接続した装置からTAPE/DAT-2端子に接続したテープデッキなどの装置に録音するとき。

2▶1...TAPE/DAT-2端子に接続した装置からTAPE/DAT-1端子に接続したテープデッキなどの装置に録音するとき。

### 14 テープ/ DATプレイスイッチ(TAPE/DAT PLAY)

TAPE/DATの再生端子に接続したテープデッキ、DATまたはビデオデッキの音声を再生するときに操作するツマミです。

OFF...インプットセレクターで選択した装置の再生をするとき、この位置にセットします。またテープを再生しないときはこの位置にセットしておいてください。

TAPE-1...TAPE-1端子に接続した装置を使用するとき、この位置にセットします。

TAPE-2...TAPE-2端子に接続した装置を使用するとき、この位置にセットします。

### 15 ソースパワーダイレクトスイッチ (SOURCE POWER DIRECT)

コントロールアンプ内における信号の通過経路をシンプルにしよりクリアーなサウンドにするためのスイッチです。スイッチがDIRECTにセットされているときはシンプルな伝送回路になり、OFFにセットされているときは回路構成がもとに戻ります。

\* DIRECTにセットされている間は、バランスコントロール、ラウドネススイッチ、サブソニックスイッチ、ミューティングスイッチを操作しても働きません。

### 16 バランスコントロール(BALANCE)

左右の音量バランスを調整するツマミで、右側の音量が小さいときは中央より右にまわし、左側の音量が小さいときは左にまわします。通常は、中央の位置にしておいてください。

# 操作

## 演奏を始める前に

演奏を始める前に、各ツマミの位置を確認してください。

- \* ボリュームコントロールは左にまわしきって音量最小の位置にします。
- \* バランスコントロールは中央の位置にします。
- \* 録音セクターは"OFF"の位置にします。
- \* パワーアンプ、ダイレクトスイッチは"INTEGRATED"の位置にします。
- \* スピーカースイッチはヘッドホンを使用するときは"OFF"の位置に、スピーカーを使用するときは"ON"の位置にセットします。

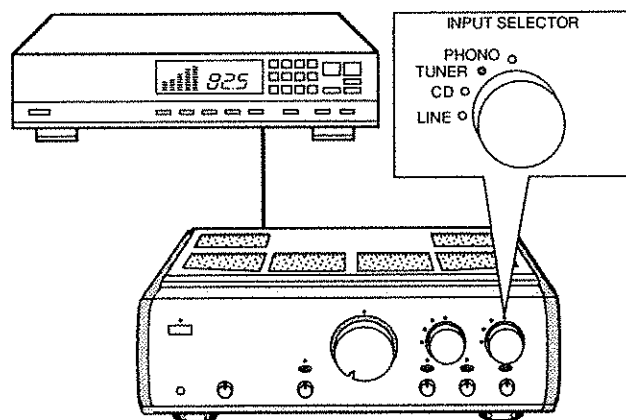
確認後、パワースイッチを押して電源を入れます。PROTECTORインジケータが点滅して数秒後、常時点灯に変わりアンプが動作状態になります。

演奏を始める前に、各スイッチの位置を確認してください。

- \* プロセッサ、ラウドネス、ミュート、サブソニックの各スイッチはインジケータが消えた状態にセットします。

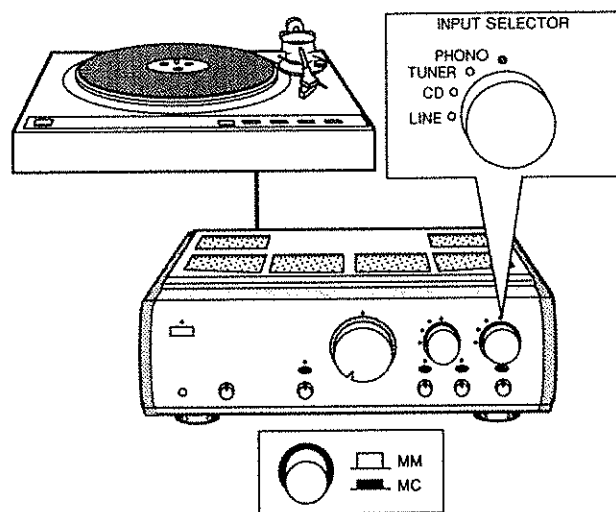
## 放送の受信

1. インプットセクターを"TUNER"にセットします。
2. チューナーを操作して放送を受信します。
3. 音量などを調整して放送をお楽しみください。



## レコードの再生

1. インプットセクターを"PHONO"にセットします。
2. 使用するカートリッジに合わせて背面のMM/MCスイッチをセットします。  
MM:MM型などの高出力カートリッジを使用する場合。  
MC:MC型などの低出力カートリッジを使用する場合。
3. レコードプレーヤーを操作してレコードを再生します。
4. 音量などを調整して演奏をお楽しみください。



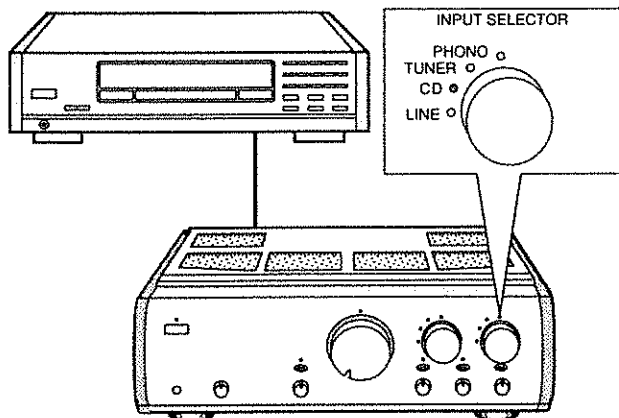
## 良好なレコード再生のために

- \* ソリのあるレコード盤を演奏すると、超低域雑音が発生して低音用のスピーカーを不要振動させ、音質に悪影響を与えます。このときは、サブソニックスイッチを押すと、超低域雑音を除去できます。
- \* 「ブーン」とハム音が入る場合は、ピンプラグの接続が不完全な場合やアース線がはずれている場合があります。また、カートリッジによってはアース線を接続しないほうがハム音が減る場合があります。

# 操作

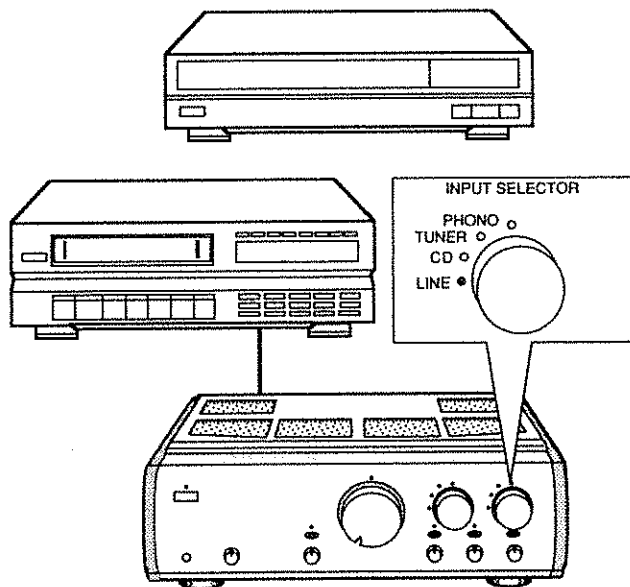
## コンパクトディスクの再生

1. インプットセレクターを"CD"にセットします。
2. コンパクトディスクプレーヤーを操作してコンパクトディスクを再生します。
3. 音量などを調整して演奏をお楽しみください。



## LINE端子に接続した装置の再生

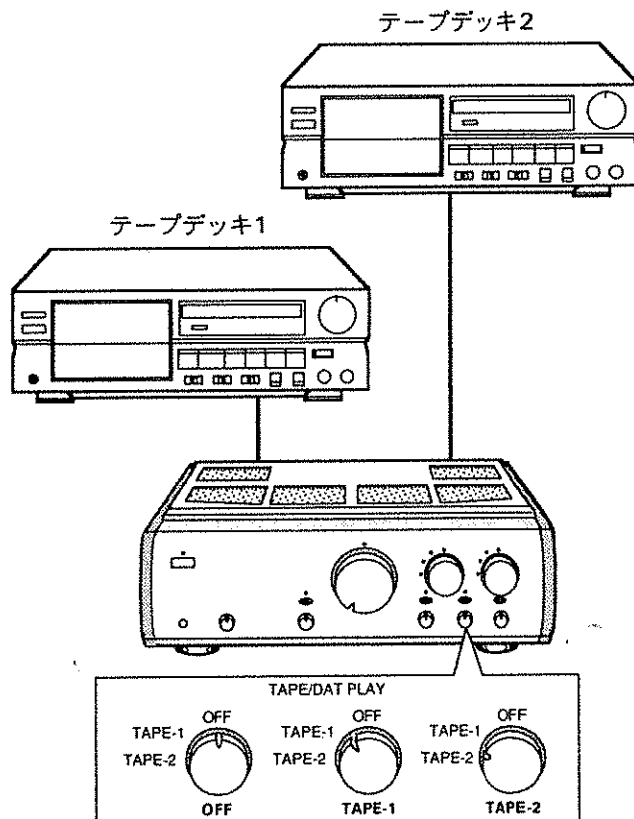
1. インプットセレクターを"LINE"にセットします。
2. 接続されている装置を操作し動作状態にします。
3. 音量などを調整して演奏をお楽しみください。



## テープの再生

TAPE/DAT再生端子に接続したテープデッキ、DATまたはビデオデッキの音声を再生するときは、次の操作をします。

1. パワーアンプ. ダイレクトスイッチを"INTEGRATED"にセットします。
2. 使用するテープデッキなどの装置を接続した端子に応じてTAPE/DAT PLAYスイッチをTAPE-1, TAPE-2の位置へセットします。
3. テープデッキなどの装置を操作して再生状態にします。
4. 音量などを調整して演奏をお楽しみください。



\* テープ再生が終了し、インプットセレクターで選択した装置を再生するときはTAPE/DAT PLAYスイッチを"OFF"の位置に戻しておいてください。

\* スピーカースイッチを"OFF"に合わせるとスピーカーからは音が出ません。ヘッドホンをお使いになるときはこの位置にします。

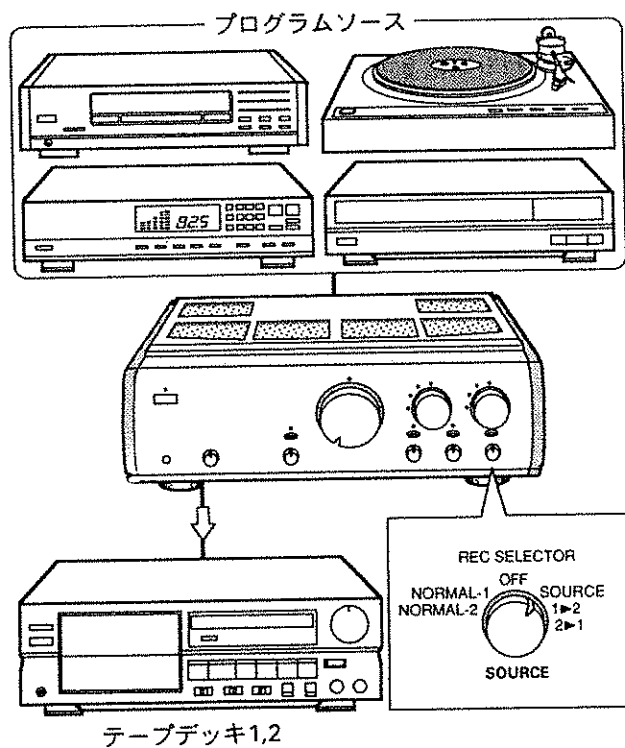
# 操作

## テープの録音

レコード、CD、放送、LINE端子または、POWER AMP DIRECT(NORMAL-1,-2)端子に接続した装置のプログラムソースをTAPE/DATの録音(REC)端子に接続したテープデッキに録音することができます。

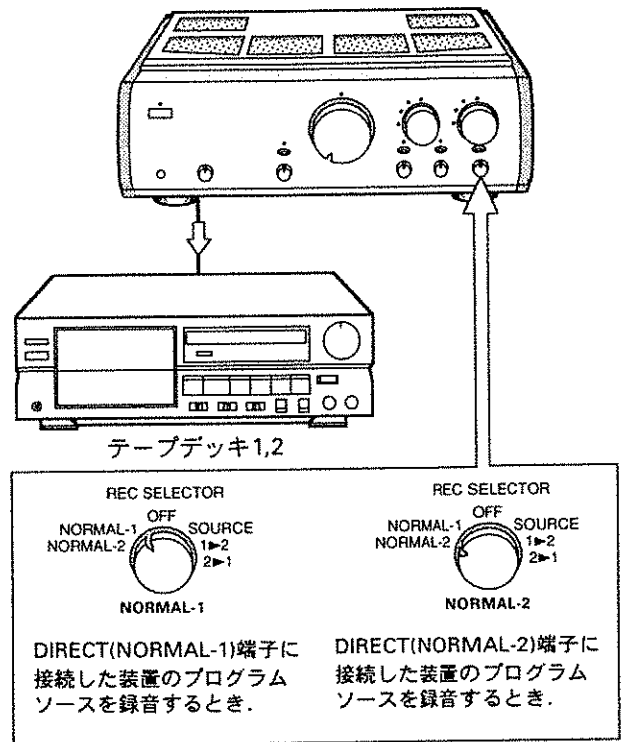
レコード、CD、放送または、LINE端子に接続した装置のプログラムソースを録音するとき。

1. 録音セレクターを"SOURCE"の位置にします。
2. 録音するプログラムソース(レコードやCD、放送、LINEなど)に応じてインプットセレクタースイッチを切り換えます。
3. プログラムソースの演奏をはじめます。
4. テープデッキを操作して録音レベルを調整し、録音を開始します。



DIRECT(NORMAL-1,-2)端子に接続した装置のプログラムソースを録音するとき。

1. 録音するプログラムソースに応じて録音セレクターをNORMAL-1またはNORMAL-2にセットします。
2. プログラムソースの演奏をはじめます。
3. テープデッキを操作して録音レベルを調整し、録音を開始します。



- \* BALANCED端子に接続した装置のプログラムソースは、音質優先のため録音できません。
- \* ボリューム、バランス、などのコントロールを操作しても録音する信号の録音レベルは調整できません。また、プロセッサー(RETURN)端子から入力された信号を録音することはできません。
- \* パワーアンプ、ダイレクトで聞きながら、録音セレクターを"SOURCE"にセットすると、インプットセレクタースイッチで選択したプログラムソースを録音(裏録)できます。

## ラウドネススイッチについて

人間の聴覚は、音量が小さくなるに従って低音と高音に対する感度が下がる性質があり、小音量時には低音と高音が不足したやせた音に聞こえます。小音量時にこのスイッチを押すとインジケーターが点灯し、低音と高音が適度に増強されて聴感上のバランスを保ちます。(お部屋の状態による音の吸収、反射により効果は異なります。)

もう1度押すとインジケーターが消え、ラウドネス回路が切り離され周波数特性がフラットになります。

## ステレオバランスについて

ステレオバランスは、左右のスピーカーの置き方や能率の違い、家具の配置などによって影響を受けます。左右のスピーカーの音量が異なり、再生音が片寄って聞こえる場合はバランスコントロールでステレオバランスを調整してください。

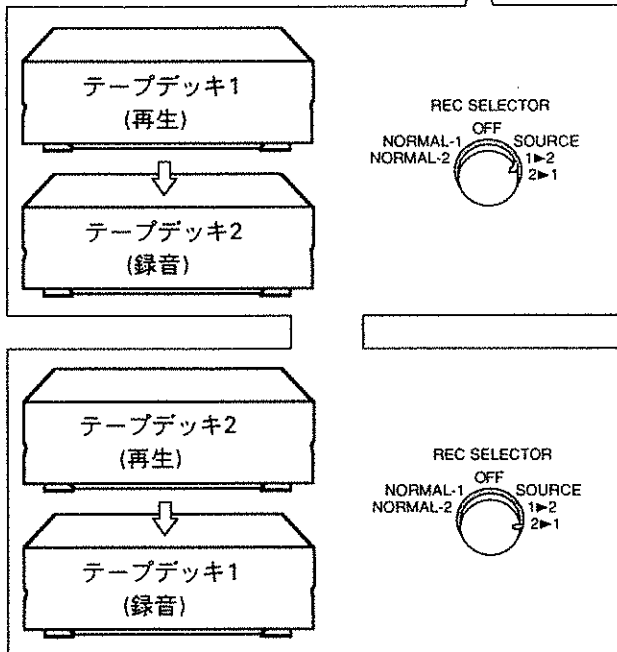
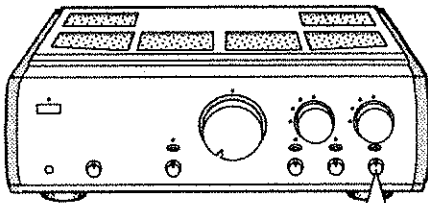
バランスをとるには、ふだん聞いている位の音量でモノラルのプログラムソースを演奏し、バランスコントロールを回して音声が左右のスピーカーの中央から聞こえるように調整します。

# 操作

## テープからテープへのコピー

2台のテープデッキをご使用になれば、録音済みのテープから別のテープに録音しなおすテープコピーが行えます。

- 録音セレクトスイッチを"1▶2"または"2▶1"の位置にします。  
●テープデッキの1から2にコピーする場合は"1▶2"の位置に、2から1にコピーする場合は"2▶1"の位置にしてください。
- 再生用と録音用のテープデッキ2台を操作し、録音を開始します。



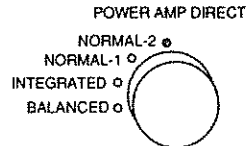
- \* テープコピー中に他のプログラムソースをスピーカーで聞くことができます。その場合はインプットセクターまたは、パワーアンプ・ダイレクトスイッチでお聞きになるプログラムソースを選択してください。
- \* テープコピー中のプログラムソースはTAPE/DATプレイスイッチのTAPE-1またはTAPE-2のうち再生側のデッキにスイッチを合わせて聞くことができます。録音側のテープデッキにモニター機能(録音と再生のヘッドが独立した3ヘッドのデッキ)がある場合は、録音側のデッキにスイッチを合わせて録音モニターができます。

あなたが放送やレコード、テープまたはビデオディスクや市販のソフトテープから録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、著作者に無断で使用することはできません。

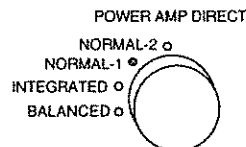
## パワーアンプ・ダイレクトスイッチについて

POWER AMP DIRECT端子に接続した装置を使用するときは、次の操作をします。

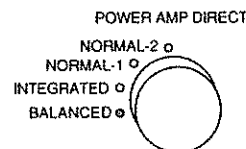
- パワーアンプ・ダイレクトスイッチを、接続した装置に合わせてBALANCED,NORMAL-1またはNORMAL-2に切り換えます。  
パワーアンプ・ダイレクトインジケータが点灯します。
- 使用する装置を操作して再生を始めます。
- ボリュームコントロールで音量を調整します。



DIRECT(NORMAL-2)端子に接続した装置を使用するとき



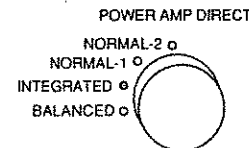
DIRECT(NORMAL-1)端子に接続した装置を使用するとき



DIRECT(BALANCED)端子に接続した装置を使用するとき

\* パワーアンプ・ダイレクトスイッチの切り換えをするときは、ボリュームコントロールを左に回しきって最小の位置にしてから行ってください。

\* スイッチが"INTEGRATED"以外の位置にセットされているときはバランスコントロールやラウドネス、ミュージング、サブソニックの各スイッチは働きません。



\* 通常は"INTEGRATED"の位置にしておいてください。

スイッチを"BALANCED","NORMAL-1"や"NORMAL-2"から"INTEGRATED"に切り換えると、回路のレベル差によりボリュームの位置が同じでも音量が異なりますのでご注意ください。

## プロテクター(保護)回路

本機の入力端子(INPUT/TAPE/DATまたはPOWER AMP DIRECT)に接続した装置から直流(DC)成分が漏れている場合、スピーカー保護のためにプロテクター回路が働いて(PROTECTORインジケータが点滅)音が出なくなります。この場合、その装置はご使用になれません。

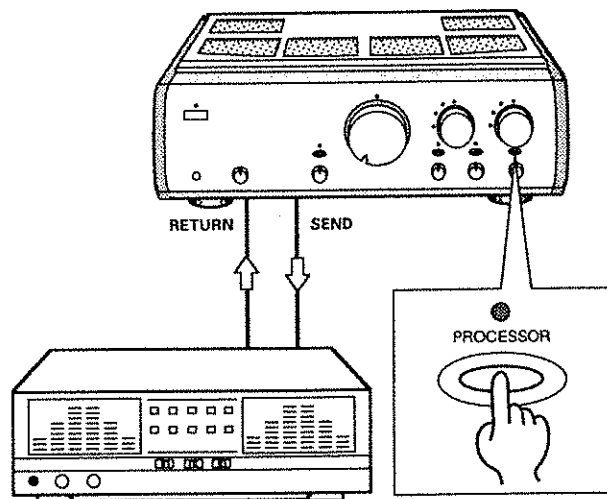
## 操作

### プロセッサスイッチについて

PROCESSOR端子に接続した装置(グラフィックイコライザーなど)を使用するときは、次の操作をします。

1. プロセッサスイッチを押してインジケータが点灯した状態にします。
2. 本機でプログラムソースを再生し、PROCESSOR端子に接続した装置を操作します。

\* PROCESSOR端子に何も接続されていない場合や装置を使用していないときは、必ずインジケータ消灯にセットしておいてください。



## トラブルと修理依頼

### サービスの依頼をする前に

アンプの故障と思われる症状の中には、使い方や他の装置が原因の場合があります。

#### 音が出ない

- 電源コードが抜けていませんか。  
プレーヤー、チューナー、テープデッキなどもしらべる
- スピーカーコードがはずれていませんか。  
アンプ側、スピーカー側の両方をしらべる
- ピンプラグコードがはずれていませんか。  
プレーヤー、チューナー、テープデッキなどもしらべる
- プロテクターインジケータが点滅している。  
スピーカーコードのプラスとマイナスが接触していませんか。
- ボリュームコントロールが音量最小の位置になっていませんか。
- インプットセレクターは正しくセットされていますか。
- スピーカースイッチが"OFF"になっていませんか。
- パワーアンプ、ダイレクトスイッチは正しい位置になっていますか。
- プロセッサスイッチは正しくセットされていますか。

サービスの依頼をする前に、もう1度この取扱説明書をよくお読みになり、接続と操作を確かめてください。

#### 片側から音が出ない

- 接続コードの片側がはずれていませんか。
  - バランスコントロールが"LEFT"か"RIGHT"の位置になっていませんか。
- 再生音が不自然で音像が定位しない
- スピーカーの極性(プラスとマイナス)を間違えている。

#### 音質調整できない

- トーンインジケータが消えていませんか。

#### 雑音が多い

- ピンプラグコードやスピーカーコードが抜けかけていませんか。

#### 録音ができない

- 録音セレクターは正しくセットされていますか。

### サービスの依頼

確認(対策)しても正常に戻らず、アンプの故障と考えられる場合は電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げになった販売店または最寄りの当社サービス窓口へ次の事項をご連絡ください。  
(購入して1年以内の場合は、保証書を提示してください。)

- お名前、住所、連絡先電話番号
- 型名.....インテグレートッドアンプ AU-@907LIMITED
- 故障の内容.....できるだけ詳しくお知らせください
- お買い上げ年月日.....○年○月○日
- ご自宅までの道順と目標/ご希望訪問日時

# 仕様

## パワーアンプ部

帯域実効出力 (10 Hz~20 kHz,両チャンネル同時動作)

8 Ω .....80 W+80 W

6 Ω .....100 W+100 W

全高調波歪率 (10 Hz~20 kHz)

8 Ω (実効出力時) .....0.01%以下

6 Ω (1/2実効出力時) .....0.01%以下

混変調歪率 (60 Hz:7,000 Hz=4:1,SMPTE法)

8 Ω (実効出力時) .....0.01%以下

ダンピングファクター (1 kHz)

8 Ω .....150

エンベロープひずみ .....測定限界以下

TIMひずみ (Sawtooth) .....測定限界以下

スルーレイト .....200 V/μ sec(8Ω)

ライズタイム .....0.5 μ sec

周波数特性 (1 W) .....DC~300 kHz+0 dB,-3 dB

負荷インピーダンス

.....4~16 Ω

入力感度/入力インピーダンス (1 kHz)

POWER AMP DIRECT(NORMAL-1,-2)

.....1 V / 5 kΩ

SN比 (Aネットワーク, ショートサーキット)

.....120 dB以上

ヘッドホン端子出力

.....400 mW / 33 Ω

## プリアンプ部

入力感度/入力インピーダンス (1 kHz)

PHONO(MC) .....300 μV / 100 Ω

PHONO(MM) .....2.5 mV / 47 kΩ

TUNER,CD,LINE .....150 mV / 20 kΩ

TAPE/DAT PLAY1,2,.....150 mV / 20 kΩ

PROCESSOR RETURN.....150 mV / 20 kΩ

最大許容入力 (1,000 Hz)

PHONO(MC,全高調波歪率0.1%)

.....25 mV

PHONO(MM,全高調波歪率0.01%)

.....250 mV

出力電圧/出力インピーダンス (1 kHz)

TAPE/DAT REC1,2,.....150 mV / 600 Ω 以下

周波数特性 (1 W出力時)

PHONO(MM)

(RIAA偏差).....20 Hz~20 kHz+0.2 dB

.....-0.2 dB

TUNER,CD,LINE .....DC~300 kHz+0 dB,-3 dB

TAPE/DAT PLAY1,2,.....DC~300 kHz+0 dB,-3 dB

SN比 (Aネットワーク, ショートサーキット)

PHONO(MC) .....75 dB以上

PHONO(MM) .....90 dB以上

TUNER,CD,LINE .....110 dB以上

TAPE/DAT PLAY1,2,.....110 dB以上

チャンネルセパレーション (1 kHz)

PHONO(MC) .....50 dB以上

PHONO(MM) .....65 dB以上

TUNER,CD,LINE .....85 dB以上

TAPE/DAT PLAY1,2,.....85 dB以上

サブソニックフィルター .....16 Hz(-3dB) 6 dB / oct.

ラウドネス (音量:-30 dB時)

.....+4 dB (50 Hz)

.....+3 dB (10 kHz)

オーディオミューティング (1 kHz)

.....-20 dB

## その他

電源電圧 .....AC 100 V

電源周波数 .....50 Hz / 60 Hz

定格消費電力 (電気用品取締法)

.....280 W

寸法 .....幅466 mm

.....高さ166 mm

.....奥行き453 mm

重量 .....34.0 kg (本体のみ)

\*改良のため、予告なく意匠、仕様の一部を変更することがあります。

山水電気株式会社

---

# 山水電気株式会社

〒183 東京都府中市日鋼町1番1Jタワー7F

Printed in Japan (34SACR1) <19092600>